



舟鶴業考

~ 4
641





丹鶴叢書 己酉帙

從五位下行土佐守源朝臣忠央輯刻

信實朝臣家集撰

春歌

新ら枯野もく人におよみ侍ふたつる

けさよりいそぎちぬや久このまゝ入更よはけけらむ

一條入道太政大臣家よきまかしのせき人

よみ侍しよ

新らけさのよめはのびむらさきのみくらあまらけ

門 4
號 641
卷 *

丹鶴叢書

明治三十九年
十月十八日
購求

寛元三年八月右大臣入道法華經の料幣
のうらひ百さへ入るるに付は
よるる

寫のちのうらひはなほさへ入るるに付は
前孫大納言むすぶ百さへ入るるに付は
まじりくもなほさへ入るるに付は
入道二品親王入るるに付は
給しよはさるるに付は
まじりぬれぬれに付は
經乃さるるに付は

新後撰春上

信実

まじりぬれぬれに付は
接改敷入るるに付は
まじりぬれぬれに付は
前者大納言に付は
まじりぬれぬれに付は

五月五日 西園寺 法性寺 入道 関白 教 たち 長 の 法 師 入 道 関 白 首

五月五日 西園寺 法性寺 入道 関白 教 たち 長 の 法 師 入 道 関 白 首

五月五日 西園寺 法性寺 入道 関白 教 たち 長 の 法 師 入 道 関 白 首

五月五日 西園寺 法性寺 入道 関白 教 たち 長 の 法 師 入 道 関 白 首

信実

五月五日 西園寺 法性寺 入道 関白 教 たち 長 の 法 師 入 道 関 白 首

五月五日 西園寺 法性寺 入道 関白 教 たち 長 の 法 師 入 道 関 白 首

五月五日 西園寺 法性寺 入道 関白 教 たち 長 の 法 師 入 道 関 白 首

丹波書

秋文

貞永元年秋按政家五郎百三郎

秋

新勅撰秋上

よる波の涼しくもあまのあけの神のうけ秋のまじりせ
前孫大納言家五郎百三郎秋を詠む

秋ふもなまもいそぐなまきりめいつ七日の昔とまうら

寛元三年九月法性寺殿より秋を詠む

かきこむ信よ

天のうき波のまじり秋を詠む

秋のうき波のまじり

新勅撰秋上
よる波の涼しくもあまのあけの神のうけ秋のまじりせ
とよんを

信実

新勅撰雜

かきこむ信よ

按政殿百三郎閑居のまじり

かきこむ信よ

九條内大臣家より閑居のまじり

新勅撰秋上

まじり信よ

建保五年内裏御所の合子

新勅撰秋上

秋のまじり信よ

秋のまじり信よ

くまのまじり信よ

草花を詠む

丹鳥書

続千載秋上

〜〜〜あり〜〜〜
は性さ殿廿三

徳吉 浦月を

続古今秋上

接政殿序百々々々々々
同々々々々々々々々々

徳後 月のちの中ふ

続後撰秋中

〜〜〜は〜〜〜
惟実

事務を〜〜〜
八月十五夜一條入道大政大臣家
新後撰秋上

続古今神

貞永元年八月十五夜大政大臣家
五社合合よかき乃月
道の川おんや〜〜〜
新々結結よまらあけ

新勅撰秋下
 秋の安み中
 接政殿法可
 九條内大臣家
 信実

大之位入道
 擣衣
 接政殿法可
 九條内大臣家
 乃里

西園寺
~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

信実

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~







同寺致書  
 五社致書  
 建保五年内裏致書  
 丹鳥書

信実

新勅 推大納言忠信  
 合一付々々小極  
 とらふ

同寺致書  
 五社致書  
 建保五年内裏致書  
 丹鳥書



我意ハ八尋のほろろのけりて

新後撰志四

ちひさしき新後

ちひさしき人なるはけりて

続古今

小徳吉

ちひさしき人なるはけりて

京極中納言家持のけりて

ちひさしき人なるはけりて

三條の侍候の位可なり

ちひさしき人なるはけりて

貞永のけりて

続古今恋五

あはれなるはけりて

西宮のけりて

信実

続古洞院拾遺家  
百三十三

同  
意のこの中

同恋三

あはれなるはけりて

ちひさしき人なるはけりて

あはれなるはけりて

六條の内大臣のけりて

ちひさしき人なるはけりて

ちひさしき人なるはけりて

家長朝臣のけりて

続千載傳四

あはれなるはけりて

ちひさしき人なるはけりて

あはれなるはけりて



かきつゝのすゝめ

いふはかきつゝのすゝめ  
かきつゝのすゝめ  
かきつゝのすゝめ

湊舟のすゝめ

友大納言のすゝめ

いふはかきつゝのすゝめ  
かきつゝのすゝめ

はかきつゝのすゝめ

信実

雑言

新しき話

いふはかきつゝのすゝめ

〜

いふはかきつゝのすゝめ

〜

いふはかきつゝのすゝめ

〜

いふはかきつゝのすゝめ

〜















続拾洞院抄政事百  
その上巻

あつちのちやうのさうじはたかきしほの二木のちやうじはたか  
あつちのちやうのさうじはたかきしほのちやうじはたか  
貞水あきしほ百首よたか

続拾遺旅

道きしほのちやうじはたかきしほのちやうじはたか  
約かきしほのちやうじはたかきしほのちやうじはたか  
七りしほのちやうじはたかきしほのちやうじはたか

続古洞院抄政事百  
その下巻

あつちのちやうのさうじはたかきしほのちやうじはたか  
はのちやうのさうじはたかきしほのちやうじはたか

続古今旅

右大弁入道あきしほのちやうじはたか  
まのちやうのさうじはたかきしほのちやうじはたか

信実

新後撰雑上たいの

あつちのちやうのさうじはたかきしほのちやうじはたか  
あつちのちやうのさうじはたかきしほのちやうじはたか

新後

法道あつちのちやうのさうじはたかきしほのちやうじはたか  
百羽あつちのちやうのさうじはたかきしほのちやうじはたか

続古今雑中

入書あつちのちやうのさうじはたかきしほのちやうじはたか  
あつちのちやうのさうじはたかきしほのちやうじはたか

拾政殿序あつちのちやうのさうじはたかきしほのちやうじはたか

あつちのちやうのさうじはたかきしほのちやうじはたか

同百首了述懐











於天聖...  
 書...  
 地...  
 於...  
 於...

信實

丹鶴叢書目録

丁未帙

正中御飾記一卷

内宮御神寶記一卷

右二部原本丹鶴書院藏

後水尾院當時年中行事二卷

右原本村田春野藏

春記三卷 同裏文書

右原本中山備前守信守朝臣藏

九條右大臣集一卷

丹鶴叢書



御堂閑白集一卷

右二部原本丹鶴書院藏

藤原家經朝臣集一卷

右原本仲田顯忠藏

和泉式部續集二卷

右原本井上文雄藏

源重之女集一卷

小侍從集一卷

殷富門院大輔集一卷

右三部原本仲田顯忠藏

風介津連奈幾物語一卷

右原本新見伊賀守正路朝臣藏

已上摠十二部十五卷或分或合為十一

本

戊申帙

釋奠供物圖一卷

諸陵雜事注文一卷

雜筆要集一卷

右三部原本村田春野藏

春記十一卷



右原本松平越中守定猷朝臣藏

室所殿春日詣記一卷

右原本村田春野藏

拵弓藤割次第一卷

諸鞍日記一卷

九條家車圖一卷

西園寺家車圖一卷

右四部原本田口千穎藏

萬代和歌集二十卷

前參議教長卿集六卷

濱松中納言物語四卷

乙寺緣起一卷

右四部原本丹鶴書院藏

己上摠十三部五十卷為三十九本

己酉帙

侍中群要十卷

右原本松岡明義藏

信實朝臣集一卷

草根集十五卷

右二部原本丹鶴書院藏



繪師草紙一卷

右原本小田切直藏同人縮寫之

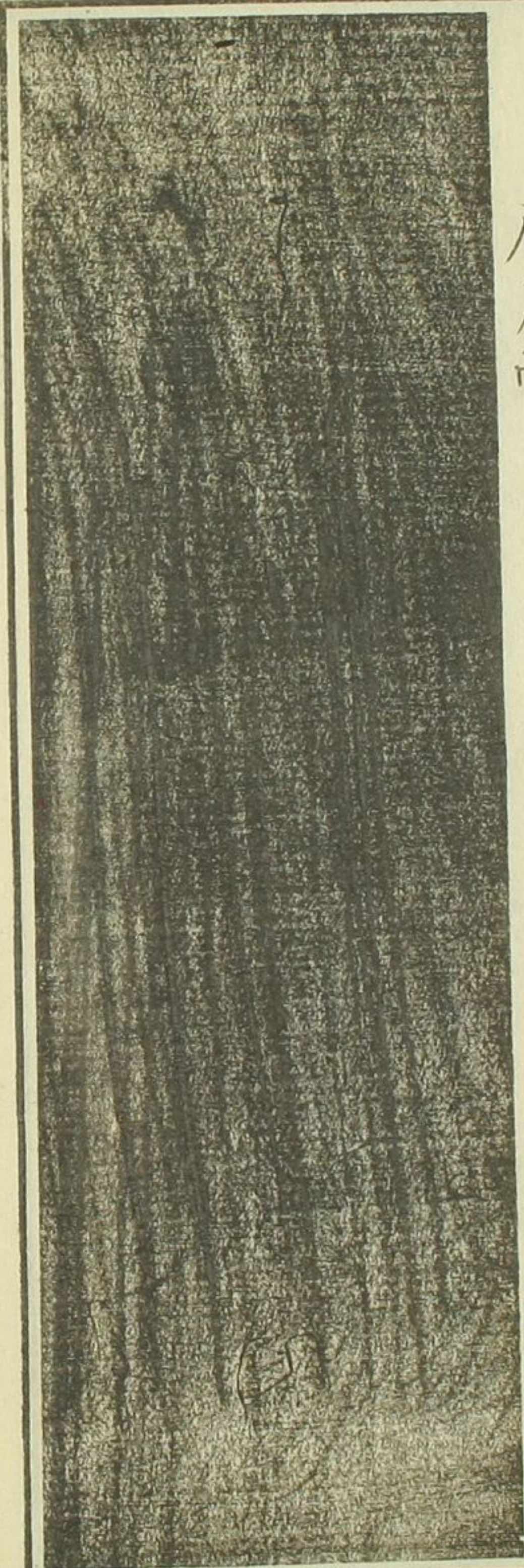
蒙古襲來繪詞三卷

右原本高島千春藏同人縮寫之

已上摠五部三十卷為二十四本

庚戌帙

嗣刻



# 丹鶴城藏梓

京都三条通并屋町

出雲寺文次郎

大阪心齋橋通安堂寺町

秋田屋太右衛門

江戸芝神明前

岡田屋嘉七

同鍛冶橋五郎兵衛町

中屋徳兵衛

賣弘所

三都書肆



